

高橋地域

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

高橋地域は、西端に矢作川と隣接し、東方向へは住宅地と自然が残る山間部が広がっており、かつては養蚕や木綿作りを中心に、自然と共にあるのどかな農村でした。昭和40年代自動車産業の成長を機に、東部丘陵地(市木・美和・東山・京ヶ峰・初吹等)を中心に宅地開発され、ベッドタウンとして全国各地から多くの人が移り住みました。

また、高橋、平井、百々の山車や歴史的な史跡の数々、東海丘陵湧水湿地としてラムサール条約の登録湿地に指定された矢並湿地及び真真寺湿地や鞍ヶ池公園など自然と融合した環境、豊田スタジアムの近代建築が調和した地域です。

面積	20.145 km ²	(2.2%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	1,046 人/km ²	(226.5%)	[市 462 人/km ²]
人口	21,076 人	(5.0%)	[市 424,500 人]
男性	10,515 人	(4.7%)	[市 221,768 人]
女性	10,561 人	(5.2%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	924 人	(5.7%)	[市 16,327 人]
世帯数	8,211 世帯	(4.6%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	42.42 歳	(△0.3歳)	[市 42.73 歳]

■人口

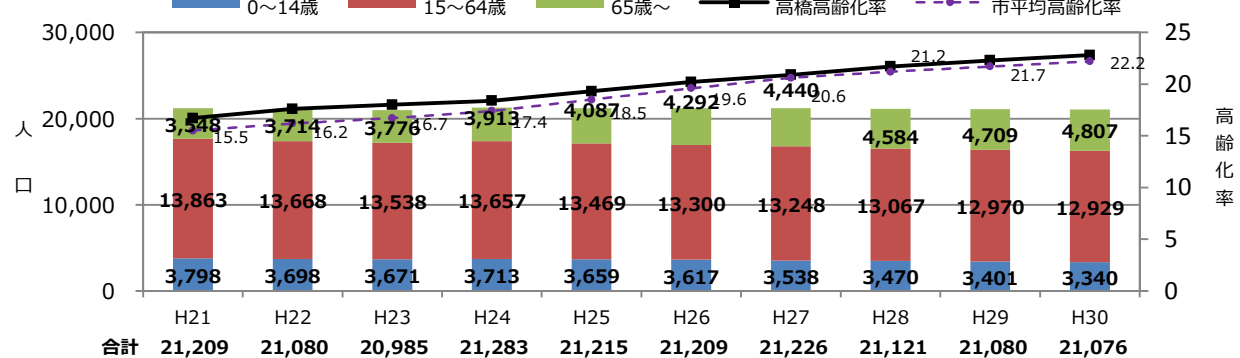
【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	21,215	21,076	△ 139	△ 0.7
0~14歳	3,659	3,340	△ 319	△ 8.7
15~64歳	13,469	12,929	△ 540	△ 4.0
65歳~	4,087	4,807	720	17.6
75歳~(再掲)	1,529	2,213	684	44.7
高齢化率	19.26	22.81	3.54	18.39

【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△ 6	17	△ 105	△ 41	△ 4
自然増減	75	79	52	17	31
社会増減	△ 81	△ 62	△ 157	△ 58	△ 35

【人口推移】



■自治区データ

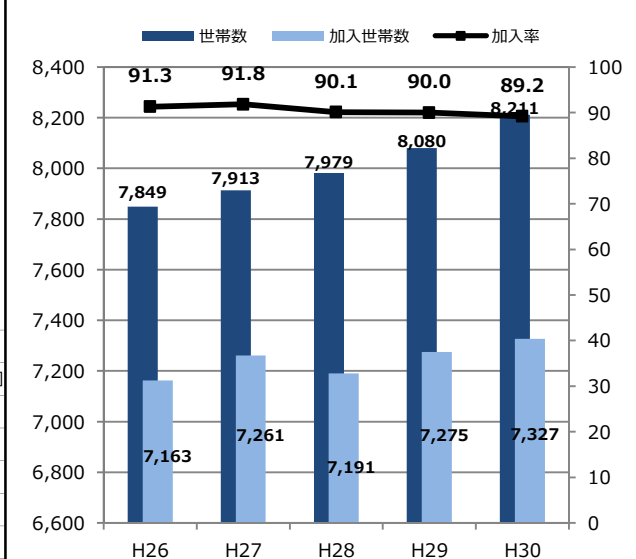
【自治区一覧】

自治区名	世帯数	自治区名	世帯数	自治区名	世帯数
高橋	1,128	岩滝町	286		
寺部	561	池田町	39		
市木町	2,193	矢並町	198		
上野	939	県営初吹	233		
平井町	138	手呂町	291		
百々	320	山中町	38		
美和町	165	公営美和	644		
扶桑町	154				

【自治区加入率】

加入率	89.2 %	加入世帯数	7,327 世帯
[市 80.9 %]		住基世帯数	8,211 世帯

【自治区加入率推移】 (単位: 世帯、%)



地域自治

出典: H29地域自治システム評価アンケート

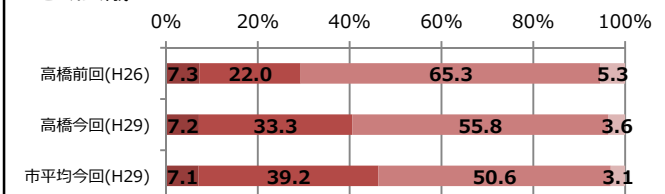
【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

課題・問題点の項目	高橋	豊田市	差
交通安全対策の推進	53.6	53.9	△ 0.3
医療の充実	48.5	47.2	1.3
公共交通機関の充実	43.5	44.3	△ 0.8
広場、公園などの施設の整備	42.1	39.5	2.6
豊かな自然環境の保全	39.8	40.3	△ 0.5
生活道路・交通をスムーズにすること	36.9	45.4	△ 8.5
買い物の不便の解消	36.3	43.8	△ 7.5
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	34.1	38.0	△ 3.9
住民同士の交流の場や機会の拡充	34.1	34.2	△ 0.1
福祉対策の充実	34.0	31.8	2.2
子育ての支援の充実	33.3	38.1	△ 4.8
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	33.3	32.0	1.3
防災対策の充実	32.6	36.8	△ 4.2
防犯対策の強化	31.1	40.5	△ 9.4
若年層の定住促進策の拡充	26.8	33.6	△ 6.8
市街地の活性化と魅力づくりの推進	26.1	31.3	△ 5.2
鳥獣害対策の強化	24.6	28.9	△ 4.3
空き家や耕作放棄地の対策の強化	23.9	32.8	△ 8.9
近所での働き口の創出	21.7	25.8	△ 4.1
農業・農地を保全すること	21.0	26.2	△ 5.2
観光によるまちづくりの推進	17.4	18.9	△ 1.5

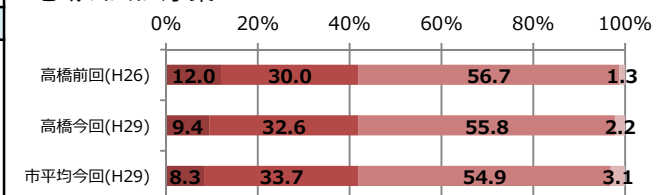
【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし

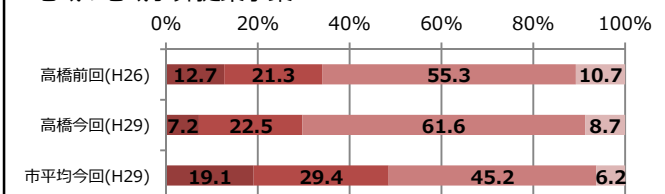
◎地域会議



◎地域のわくわく事業



◎地域の地域予算提案事業



【コメント (地域概要)】

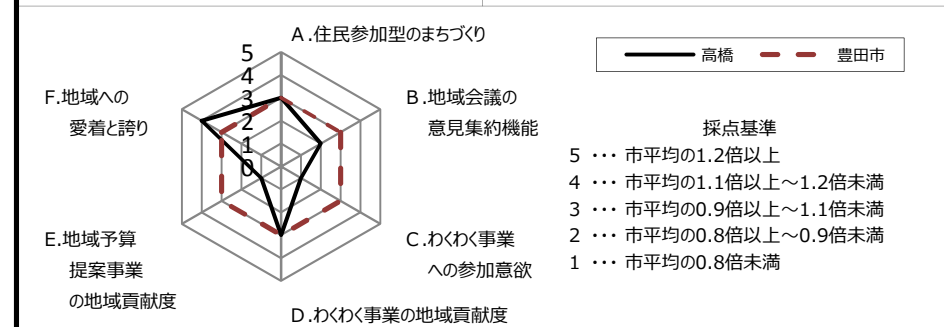
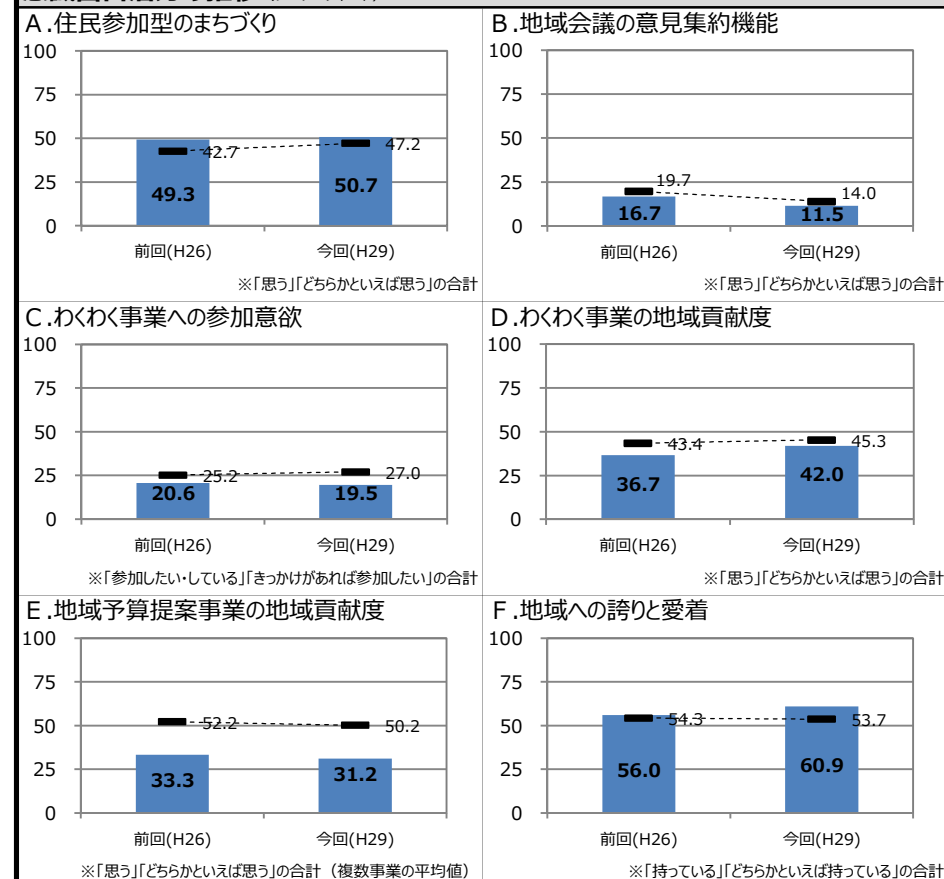
人口はここ数年21,000人台で推移しており、高齢化については、市平均と同じ増加傾向にあります。地域課題として、医療の充実、交通安全対策、買い物の不便の解消、公共交通機関など、高齢化に関連する課題の意識が高くなっています。一方、地域自治システムの認知度は、地域会議、わくわく事業、地域予算提案事業のいずれも市平均より低くなっています。

自治力見える化カルテ (1/2)

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

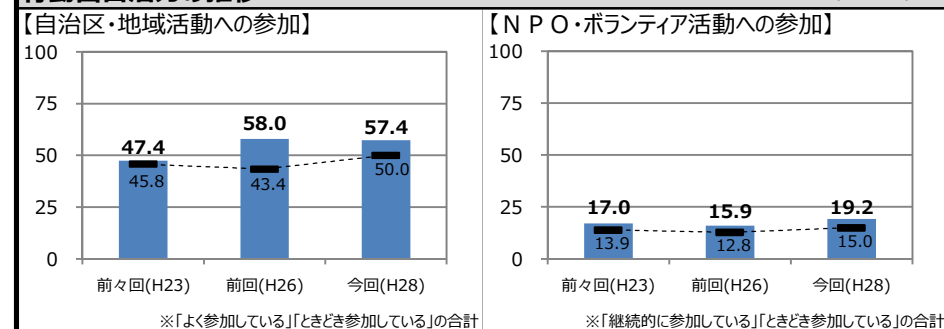
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



行動 1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動 1)】

意識面自治力については、わくわく事業、地域予算提案事業に関する内容が市全体より下がっています。特に地域予算提案事業については、18.9ポイントもの差がついています。しかし、「A. 住民参加型のまちづくり」と行動面自治力の「自治区・地域活動への参加」については市全体よりも高く、住民の参加意識が高いことがわかる。より住民の意見を反映した地域予算提案事業を行う必要があります。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	3 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	1 団体			
	スポーツ推進委員	7 名	ヘルスサポートリーダー	14 名	民生委員児童委員	31 名	お元気ですかボランティア	6 名			
	高齢者クラブ	12 団体	その他団体	1 団体	ささえあいネット	115 団体	その他団体	団体			
	活動例：【高橋スポーツクラブ】 室内ベタンクをはじめとする軽運動、健康づくり講演会、ウォーキングの講習会やイベントなど自治区等と連携し、様々な講座を実施しています。				福祉	活動例：【高橋おせんじよの会】 地域の高齢者世帯・障がい者に対し、さまざまな日常生活支援（作業奉仕）を行っています。					
コメント：スポーツクラブを中心として多くの活動が行われています。今後も活動団体が増加し、健康づくりに取り組まれることを期待します。				コメント：多くの団体が活動を行っているが、さらなる高齢化を迎えるにあたり、多くの団体の誕生と活動の発展を期待します。							
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体		交流館自主グループ	40 団体	わくわく事業関連団体	5 団体		
	その他団体	団体	—	—		その他団体	団体	—	—		
	活動例：【 】				伝統・文化	活動例：【伝統芸能・文化活動】 音楽芸能・書画造形等のジャンルの自主グループやわくわく団体が楽しく学び活動しています。					
	コメント：					コメント：楽しみながら無理なく活動することで、人生の生きがいにもつながります。生涯の趣味を見つけられるとよいと思います。					
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	4 団体		交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体		
	その他団体	団体	—	—		自主防災団体	24 団体	自主防災会	22 団体		
	活動例：【加茂川を美しくする会】 自然環境保全を図るため、加茂川周辺の草刈、ゴミ拾い、浄化活動のほか、子どもへの環境学習を行っています。				安全・安心	消防団			55 名	その他団体	団体
	コメント：河川環境、山林環境、花壇の整備など身近な生活環境の改善に取り組まれています。					活動例：【自主防災】 各自治区に自主防災会が設置されており、毎年自主的に防災訓練などを実施しています。また、防災活動に必要な備品や避難時の食料などを整備しています。					
子どもの健全育成	交流館自主グループ	2 団体	わくわく事業関連団体	団体		交流館自主グループ	5 団体	わくわく事業関連団体	団体		
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	4 団体		その他団体	団体	—	—		
	活動例：【放課後児童クラブ】 就労などにより保護者が昼間家庭にいない児童（1～4年生）を対象に、授業が終了した放課後等に適切な「遊び」や「生活」の場を提供し、児童の健全育成を行っています。				自治振興	活動例：【地域活動】 青少年育成、ボランティア等で活躍しています。					
	コメント：共働き夫婦が近年増えているため、子どもの居場所づくりを提供できる事業が今後増えてくることを望みます。					コメント：地域での活動は認知度が高く、地域に貢献しています。					
その他1	【 】					その他2	【 】				
	コメント：						コメント：				

【コメント（行動2）】
交流館の自主グループを始め、住民のグループによる様々な活動が行われており、地域の活性化や人と人との繋がりにも大きく寄与しています。今後の高齢化対策として期待されます。給食サービスや生活支援活動も活発に行われており、市内でも注目される地域です。
新たな担い手の確保と急激な高齢者人口の増に対応できるか懸念されます。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】

事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
①保健、医療、福祉の推進	1	2	2	4	3	3	1	1	1	1
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	3	2	1	2	2	1	2	4	5	4
③安心・安全な地域づくり		1	1	1		1	1			
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	2	11	4	5	5	5	4	5	4	4
⑤子どもの健全育成	1	2	1	2	2	2	1	2		1
⑥地域の特性を生かした産業振興	1	1								
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業					1	1	1			
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業										
事業件数（件）	8	19	9	14	13	13	10	12	10	10
実績額（千円）	3,882	3,053	876	2,627	1,225	1,663	1,057	3,354	1,452	1,631

※H30は、平成30年7月31日現在

【地域予算提案事業実績】

事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
防犯力のある地域づくり推進事業	防犯対策		3,182	266	182						
世代間交流による健康づくり事業	健康増進				6,039	1,469	737	1,268			
元気な中高年層による「朗・朗支援」事業	高齢福祉								426	439	1,543
実績額（千円）				266	6,221	1,469	737	1,268	426	439	1,543

※H30は当初予算額

【コメント（行動3）】
わくわく事業は、地域の伝統文化の継承と子どもの健全育成を兼ねた事業や、身近な場所での環境整備が多く行われています。また、わくわく事業後に自立し、活動を継続している団体も多くあります。
地域予算提案事業では、H22～24年度は防犯対策、H24～H27年度は健康増進に関する事業に取り組み、H28年度からは健康増進を踏まえた高齢福祉に関する事業に取り組んでいます。H26地域自治システムアンケートによる地域課題の認識の高い項目について、今後どのように取り組んでいくか検討する必要があります。

総評

今後の人口推計では、わずかながら減少傾向にありますが、65歳以上の人口は年々増加し少しずつ高齢化が進むと推計されています。地域課題の認識としては、交通安全対策の推進、公共交通機関の充実、医療の充実、生活道路・交通をスムーズにすることの順に高くなっており、高齢化するにつれて不安が高まりやすい項目の課題意識が高くなっています。防災対策の充実に関しては31.3%と比較的高くはないが、矢作川に接する地域では水害の危険性が高いことも注意しなくてはなりません。
この地域は、市の中心街から比較的近くに位置しているが、緑が豊かで歴史的な史跡が多く存在している地域です。また、住民のまちづくりや地域活動への参加意識は高く、わくわく事業や交流館の自主グループをはじめ、住民による活動が活発に行われており、人の結びつきの高さを感じることができる地域です。そのようなことが「豊田市の住みよさ満足度」「今住んでいるところへの定住意識」の高さにつながっているのかもしれない。